住友化学が「PRTR大賞2006」を受賞

住友化学は社団法人環境情報科学センター(以下、「環境情報科学センター」)が主催する「企業における化学物質管理とリスクコミュニケーションに関する表彰制度 PRTR 大賞2006」で大賞を受賞しました。大賞の受賞は総合化学メーカーとしては初めてのことです。

同賞は、PRTR制度の趣旨を理解し、率先して化学物質管理を行い、市民の理解を得るためのコミュニケーションを積極的に実践している企業・事業所を顕彰するために、環境情報科学センターが経済産業省、環境省等の後援を受けて創設した表彰制度で、今年が第3回目となります。

今回は20件の応募の中から第1次審査(書類審査)第2次審査(ヒアリング・書類調査)を経て選ばれた4件が、2月3日に都内(千代田区)で開催された「PRTR大賞2006」大賞選考会で最終プレゼンテーションを行い、そのなかで当社が会場審査員と選考委員の投票によって、大賞に選ばれました。

当社の大賞受賞は、「全社をあげてリスクベースに基づく化学物質管理が徹底され、かつ 具体的な取り組み計画の策定とその実践がなされていること、加えて各工場が創意と主体 性をもって、地域性なども加味しながら多様なリスクコミュニケーションを積極的に推進 している」ことが高く評価されたものです。

住友化学は、今後とも、適切な化学物質管理の推進と、社会とのコミュニケーションの 充実に、全社をあげて取り組んでまいります。

以上

(*) PRTR (Pollutant Release and Transfer Register)制度

さまざまな排出源から環境中へ排出または移動される化学物質の登録制度。有害性のある多種多様な化学物質が、どのような発生源からどれくらい環境中に排出されたか、あるいは廃棄物に含まれて事業所の外に運び出されたかというデータを国が定めた基準にもとづき、企業が自主的に把握し、集計し、公表する仕組みです。本制度は、行政に対するリスク評価のための情報提供、市民に対する産業界とのリスクコミュニケーションの材料提供あるいは企業にとって排出量削減による原単位の向上と環境への配慮の客観的授受などの目的を持っています。